

第4章 おもてなし

一 歓迎気運の醸成一

1 カウントダウンボード等

サミット開催を1年後にひかえた平成19(2007)年7月、開催地である洞爺湖町及び北海道庁に、サミットに向けた歓迎気運を盛り上げるカウントダウンボードを設置した。また、開催まで200日となる12月20日(木)には新千歳空港ターミナルビル、年が明けサミットイヤーとなった平成20(2008)年1月にはJR札幌駅前にも、それぞれ民間企業の協賛をいただきカウントダウンモニュメントを設置し、除幕式を行った。

(1) 洞爺湖ビジターセンター前

日時	平成19年7月7日(土)18:35- 内閣官房等主催により、サミットの1年前を記念して、安倍総理大臣(テレビ会議出演)、若林環境大臣他関係者と伊達市、洞爺湖町、壮瞥町、豊浦町の小学生47人が参加し行われた『「美しい星への願い」北海道洞爺湖サミット1年前七イベント』に引き続き実施
場所	支笏洞爺国立公園 洞爺湖ビジターセンター前
主催	北海道
出席	高橋知事、若林環境大臣、深田外務省G8サミット準備事務局長、神戸道議会北海道洞爺湖サミット推進特別委員会委員長、南山北海道経済連合会会長、戸田サッポロビール(株)北海道本社代表、菊谷伊達市長、長崎洞爺湖町長、山中壮瞥町長、工藤豊浦町長、地元小学生ほか
協力	サッポロビール(株)



洞爺湖ビジターセンター前カウントダウンボード除幕式

(2) 北海道庁赤れんが庁舎前庭

日時	平成19年7月18日(水)17:00-
場所	北海道庁赤れんが庁舎前庭
主催	北海道
出席	高橋知事、福永サッポロビール(株)代表取締役社長、永井NPO法人カルチャーナイト北海道副理事長、児童7名、シティ・ジャズ・カルテット(ジャズ演奏)
協力	サッポロビール(株)



赤れんが庁舎前庭カウントダウンボード除幕式

(3) 新千歳空港

日時	平成19年12月20日(木)10:00-
場所	新千歳空港ターミナルビル2階センタープラザ
主催	北海道洞爺湖サミット道民会議
出席	青木北海道公営企業管理者、駒澤千歳市副市長、岡北海道空港(株)代表取締役社長、戸田サッポロビール(株)北海道本社代表
協賛	サッポロビール(株)
協力	北海道空港(株)



新千歳空港カウントダウンモニュメント除幕式

(4) JR 札幌駅前

日時	平成20(2008)年1月26日(木)13:30～
場所	JR札幌駅南口広場
主催	北海道洞爺湖サミット道民会議
出席	高橋道民会議会長、上田札幌市長、荻田アサヒビール(株)代表取締役兼COO、荒ヶ田アサヒビール(株)北海道支社理事支社長、中島北海道旅客鉄道(株)代表取締役社長、札幌おもてなし隊
協賛	アサヒビール(株)
協力	北海道旅客鉄道(株)



JR 札幌駅南口広場カウントダウンモニュメント除幕式

2 シンボルマーク

「おもてなしの心」を持ってサミットを歓迎する取組を促進するため、平成19年9月に道民会議のシンボルマークを道内から公募し、10月、デザイン関係の有識者等からなる選考委員会の審査を経て選定・制作した。オール北海道による歓迎・おもてなし気運の醸成を図るため、平成19年10月からサミット終了まで、一般の企業・団体等にシンボルマークの活用を広く呼びかけたほか、道民会議の公式ポスター・リーフレット・ガイド・ポータルサイト・道民会議主催イベントで活用した。

(1) 選定の経過

- ・ 募集作品 G8 サミット開催地「北海道」が、「おもてなしの心」を持ってサミットを歓迎することがわかる、親しみやすいシンボルマークであること。
- ・ 募集対象 北海道内在住の個人
- ・ 募集期間 平成19年9月5日(水)
～9月21日(金)
- ・ 応募総数 124 作品
- ・ 選考委員会 委員長 後藤北海道デザイン協議会副会長
- ・ 選考結果 最優秀賞 郷古幸恵さん

(札幌市)



制作意図

e (いい)笑顔で、おもてなし。北海道の素晴らしさに自信をもって“おもてなし”をしたいとの想いをこめて、上向きのユーモラスなキャラクターでサミットへの期待感を表現しました。マーク全体でecologyの「e」と北海道の大地の「みどり」、海の「青」をイメージしています。

優秀賞 宮本進司さん

(札幌市)

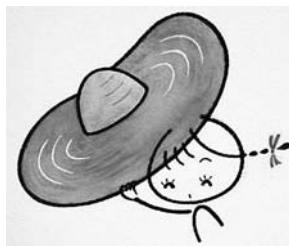
佐藤忠史さん

(札幌市)

宮本さんの作品



佐藤さんの作品



(3)シンボルマークの活用結果

シンボルマークは平成19年10月から使用申請を受付け、各種商品や広告媒体に活用いただいたほか、協賛・応援事業を実施した企業・団体においても活用いただいた。

- ・申請件数 約270件
- ・活用アイテム数 500アイテム以上

活用事例



HACの特別塗装機



JR北海道快速エアポート

(2)シンボルマーク表彰式

平成19年11月27日(火)道庁本庁舎知事応接室で表彰式が行われた。式には、3名の受賞者が出席し、道民会議会長の高橋知事から賞状と副賞(最優秀賞5万円相当図書券、優秀賞5千円相当図書券)が手渡された。



表彰式の記念撮影



JALの機体への貼付

北海道洞爺湖サミットロゴマーク

国(内閣官房内閣広報室)は北海道洞爺湖サミットの主要テーマの一つである環境・気候変動問題について青少年に理解を深めてもらうために、小学校、中学校、中等教育学校、高等学校及び特別支援学校の児童生徒を対象に平成19年7月から9月までの間にロゴマークを公募し、4,198点(うち道内685点)の応募作品の中から採用作品を決定、平成20年1月に制定した。なお、高橋知事はサミット開催地代表として選考委員に就任し選考審査にあたり、1月4日、総理官邸で開催された表彰式にも出席した。また、道内からは北海道洞爺湖町立虻田中学校2年原綾香さん、北海道札幌平岸高校3年染矢輝さんの2作品が優秀賞として選ばれた。

・作者

三重県立特別支援学校北勢きらら学園C8の近藤敦也さんら5人グループの作品。

・制作意図

この作品の中央の緑の円は発芽している種で、青色の円は地球を表しており、地球上で自然環境と人類が共生している姿を表現しています。地球がいつまでも緑があふれる美しい星であってほしいという願いをこめて、北海道洞爺湖サミットから生まれた芽が成長し、大きな実を結ぶことを期待しました。



サミットロゴマーク



原さんの作品(優秀賞) 染矢さんの作品(優秀賞)



3 公式ポスター、リーフレット・動画 CM の作成

(1)公式ポスター

サミットの開催に向け、道民等のサミット開催に対する関心を高め、おもてなしや環境配慮等の具体的行動を誘発促進することを目的に、北海道洞爺湖サミット道民会議公式ポスターを作成した。

平成 19 年 9 月 26 日(水)から 10 月 12 日(金)まで公募を行い、10 月 18 日(木)に行われた選考委員会を経て、応募作品 10 点全てを公式ポスターとして決定した。

制作については、応募する企業等が広告をポスターに掲出し、その収入で制作費用を賄う方法で行った。

また、制作における環境配慮を選考基準の一つとしたことから、間伐材用紙の利用など環境に配慮した取組も見られた。

10 種類の公式ポスターは、各 2,000 枚作成され、サミット開催までの期間、「平成 19 年 11 月～平成 20 年 1 月」、「平成 20 年 2 月～4 月」、「平成 20 年 5 月～7 月」の各期間に数種類ずつ、道内市町村や関連企業・団体、各府省、都府県、在京各国大使館及びサミット関連行事などに掲出した。

なお、道民会議が掲出する公式ポスターとは別に、各企業において独自に増刷し自社の店舗に掲出するという応援も見られた。

また、5 枚組で道民会議の事業計画のメッセージパネルを作成し、サミット関連行事などにおける広報に活用した。

【公式ポスター】

《提供企業》

日本電気(株)、(株)ユーザデザインラボ、フュージョン(株)、(株)ピーアールセンター、東日本電信電話(株)、(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ北海道、(株)エヌ・ティ・ティ・アド

《平成 19 年 11 月～平成 20 年 1 月掲出》



《平成 20 年 2 月～4 月掲出》



《平成 20 年 5 月～7 月掲出》



【5 枚組メッセージパネル】



(2)リーフレット

サミットの概要と開催に向けた道民会議の取組について分かりやすく紹介するとともに、歓迎気運の盛り上げと道民会議への協力を呼びかけることを目的としたリーフレット(日英版)を、(株)北洋銀行の協賛により 2 種類、各 7,000 部作成した。

【Ver.1：平成 19 年 10 月作成】



【Ver.2：平成 20 年 5 月作成】



(3) 動画 CM

サミット関係者へおもてなしの気持ちを伝えるとともに、北海道の環境、観光の魅力の PR と来道と呼びかける動画 CM（おもてなし編・観光編・環境編、各 30 秒）を平成 20 年 2 月に作成し、道民会議ポータルサイトや関連行事、航空機内、東京都内の㈱ビックカメラ店舗の大型ビジョンなどで放映した。



大型ビジョンでの動画 CM

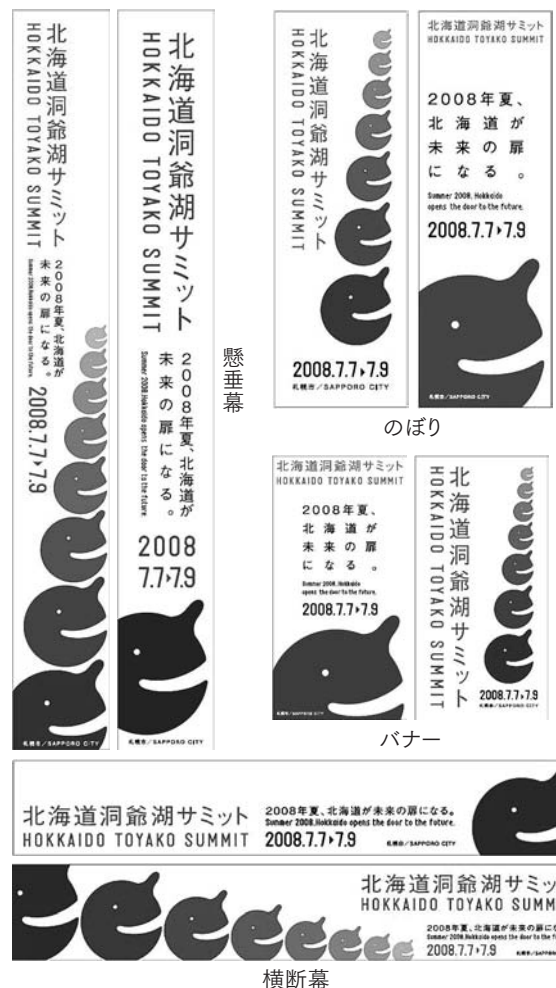
4 歓迎装飾

道民会議ではサミット開催までの間、統一感のある歓迎装飾を通じ、歓迎気運の醸成を図るため、市町村や民間企業等の協力のもと、道内の公共施設や JR 北海道主要駅・新千歳空港といった道内主要箇所において歓迎装飾物の掲出を行った。

(1) 歓迎装飾共通デザインの制作

道内において統一感のある歓迎装飾物の掲出が推進されるよう、㈱電通北海道の協力により、歓迎装飾用共通デザインを制作した。

- 標準仕様の種類
懸垂幕、横断幕、バナー、のぼり各 2 種類、計 8 種類のデザイン
- 使用料
歓迎装飾物を掲出する市町村・民間企業等にデザインデータを無償提供



(2) サミット開催 200 日前歓迎装飾の取組

サミット開催 200 日前に当たる平成 19 年 12 月 20 日(木)を契機に、交通機関や市町村、民間企業において共通デザイン等を使用した歓迎装飾物を掲出するとともに、JR 主要駅・道内各空港・道内小中高校・市町村・道庁・各支庁において、道民会議公式ポスターの掲出を開始した。



北海道庁 1 階玄関ホール



札幌市役所南側玄関



洞爺湖町有珠山噴火記念公園



壮瞥町昭和新山入口



新千歳空港ターミナルビル



JR 札幌駅



北洋銀行本店ビル



北海道銀行本店ビル

(3) サミット直前の重点的な歓迎装飾の取組

サミット開催直前においては、各国政府関係者や報道関係者が訪れる札幌市中心街、JR 札幌駅構内、新千歳空港、洞爺湖町、留寿都村、真狩村、ニセコ町、倶知安町において、(株)セブン-イレブン・ジャパン、(株)伊藤園北海道地区営業部、北海

道旅客鉄道(株)、北海道電力(株)の協賛・協力を得て歓迎バナーや G8 国旗電柱広告の掲出などを行った。



札幌市内歓迎バナー (写真左：JR 札幌駅前、右：大通公園)



北海道庁内歓迎バナー (写真左：道庁 1 階玄関ホール、右：道庁別館 1 階エレベーターホール)



JR 札幌駅構内歓迎バナー



新千歳空港周辺道路歓迎バナー



JR 洞爺駅前歓迎装飾



洞爺湖町内歓迎バナー



北電電柱広告、G8 国旗 (写真左上：留寿都村内、右上：真狩村内、左下：ニセコ町内、右下：倶知安町内)

(4) 道内各地の取組

北海道の出先機関、市町村等道内各地において歓迎装飾の取組が行われたほか、民間企業等の応

援により店舗でののぼりの掲出、自動販売機を活用した歓迎メッセージの表示など様々な取組が行われた。



洞爺湖町役場



壮瞥町役場



登別市役所



伊達市役所



豊浦町役場



白老町役場



厚真町役場



稚内市役所



札幌第2合同庁舎



北海道上川支庁



札幌通運(株)



NTT4丁目ビル

5 G8 大学サミット歓迎交流

平成20年6月29日(日)～7月1日(火)、札幌市において、歴史上初めての試みであるG8大学サミットが開催された。この大学サミットは、「グローバル・サステナビリティと大学の役割」をテーマに、国内の14大学からなるG8大学サミット運営会議(議長 小宮山東京大学総長)が実施主体となって開催されたものであり、G8及び主要経済国等の大学並びに国連大学の合計14カ国、35大学の総長・学長など約140名が参加した。

大学サミットでは、地球の持続可能性を達成するための調査・研究や教育等大学の役割を認識し、大学自らのサステナビリティの達成に向けての取り組みを約束するとともに、北海道洞爺湖サミットに参加する首脳たちに対して気候変動問題等への科学的で適正な政策の実施を求める「札幌サステナビリティ宣言」を採択し、次回はイタリアで開催することが合意された。

【参加大学】

- 〈日本〉 北海道大学、東北大学、東京大学、東京工業大学、一橋大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学、首都大学東京、慶應義塾大学、早稲田大学、同志社大学、立命館大学
- 〈カナダ〉 ブリティッシュコロンビア大学、アルバータ大学
- 〈フランス〉 エコール・ポリテクニク、パリ第4＝パリソルボンヌ大学
- 〈ドイツ〉 ミュンヘン大学、アーヘン工科大学
- 〈イタリア〉 トリノ工科大学、フィレンツェ大学
- 〈ロシア〉 極東国立総合大学
- 〈イギリス〉 インペリアル・カレッジ・ロンドン、ケンブリッジ大学
- 〈アメリカ〉 カリフォルニア大学ロサンゼルス校、イエール大学
- 〈オーストラリア〉 オーストラリア国立大学

〈ブラジル〉 サンパウロ大学
 〈中国〉 北京大学、清華大学
 〈インド〉 インド工科大学カンプール校
 〈韓国〉 ソウル国立大学
 〈南アフリカ〉 ヨハネスブルグ大学
 〈国連〉 国連大学

【ウェルカムパーティ概要】

パーティは、主催者であり、大学サミット運営会議副議長である北海道大学総長の挨拶にはじまり、来賓である文部科学大臣の挨拶の後、道民会議副会長(北海道商工会議所連合会会頭)の乾杯を経て歓談となった。和やかな雰囲気の下、ハイレベルな学究機関のトップが国際色豊かに交流を深めた。

日時	平成20年6月29日(日)19:00-20:30
場所	京王プラザホテル札幌



ウェルカムパーティの様子

— おもてなしの充実 —

1 おもてなしクリーンアップ運動

(1)概要

サミットに対する全道的な気運の醸成とより良い環境で来道者をお迎えするため、清掃活動や普及啓発活動を実施する「北海道洞爺湖サミット・おもてなしクリーンアップ運動」を展開した。

運動は、「北海道洞爺湖サミット・おもてなしクリーンアップ運動実行委員会」が呼びかけ、これまで清掃活動に率先して取り組んできた団体の協力を得て、道内各地で行われる取組を尊重し、互いに連携を図りながら実施することとした。道民、企業、団体などの方々に、「北海道クリーン作戦」と「ラブアース・クリーンアップ in 北海道2008」のいずれかの清掃活動の取組に登録していただき、全道で延べ約33万9千人が清掃活動に参加した。

【実行委員会の構成機関】

道民会議、北海道経済産業局、北海道開発局、北海道運輸局、北海道地方環境事務所、北海道

【対象地域】 道内全域

【対象期間】 平成20年2月からサミット開催直前まで

(2)キックオフセレモニー

「おもてなし・クリーンアップ運動」を推進するため、キックオフセレモニーを2月9日(土)に開催した。テープカットによりサミット開催まで展開される「おもてなし・クリーンアップ運動」のスタートを宣言。キックオフセレモニーに引き続き、11日(月)まで「ひろえば街が好きになる運動」(日本たばこ産業主催)により、雪まつり会場の清掃活動が実施され、3日間で延べ4,578名が参加し、2,290kgのゴミを回収した。

日時	平成20年2月9日
場所	さっぽろ雪まつり大通り7丁目会場



キックオフセレモニーでのテープカット

(3) 主な清掃活動

ア 北海道クリーン作戦

地域住民、業界、市町村、関係機関・団体等が一体となって、啓発、清掃、回収再利用等を行い、空き缶、紙くず等の散乱防止と資源リサイクルの推進を目的に運動を展開した。

主 催	北海道クリーン作戦推進会議
メインデー	ポイ捨てゼロの日 (平成20年4月27日)
強調期間	メインデーの前後約2週間



留寿都村でのクリーンアップ

イ ラブアース・クリーンアップ in 北海道 2008

一定の期日に一斉に清掃活動を行うことで、道民の連帯感を育み、身近なごみ問題から地球環境問題への啓発にもつながる行動を行い、よりよい北海道の自然環境を次世代に引き継いでいくことを目的にクリーンアップ運動を展開した。

主 催	NPO法人 北海道市民環境ネットワーク
メインデー	北海道が一番きれいになる日 (平成20年6月1日)
実施期間	平成20年4月22日(アースデー) -6月30日(環境月間最終日)



ラブアース・クリーンアップ

ウ 普及啓発活動

(ア) まち美化シンポジウムの開催

環境美化活動の推進を図るため、民間団体との共催でシンポジウムを開催し、北海道環境宣言の説明と、「環境にやさしい協働のまちづくり」テーマとした講演を行うとともに、清掃美化活動やアダプト・プログラムの先進事例の紹介等を行った。

日時	平成20年5月27日
場所	北海道庁別館
主催	おもてなしクリーンアップ運動実行委員会 (社)食品容器環境美化協会

(イ) その他の普及啓発

実行委員会及び構成機関が中心となって、ごみの投げ捨て防止を呼びかけるポスターの掲出や民間企業の協賛によるペットボトルの再生素材を使用した特製ゴミ袋を配付したほか、ヘリコプターや移動監視カメラによる不法投棄監視、きれいな観光地作りのための社会実験などの取組が行われた。



市町村に配付したゴミ袋



啓発用ポスター

2 景観対策

洞爺湖町の西側の玄関口、各国代表団が宿泊する温泉街と国際メディアセンターのほぼ中間地点に位置する国道230号沿いに昭和53年に閉鎖されたホテルがあるため、洞爺湖町では、サミットを契機にホテルの土地を取得、解体撤去の上、湖と羊蹄山を一望できる「洞爺望羊広場」として整備を行った。

また、屋外広告物業団体等の協力で、洞爺湖温泉街の休業中のホテルや店舗に、北海道地図と歓迎文字が描かれた幕や、サミット歓迎の看板で装飾する取組も行われた。

留寿都村では、国際メディアセンターに近い国道230号線沿道に、老朽化して使われなくなったコテージが点在していたため、所有者の負担や建設業協会と観光協会の協力を得て解体撤去を行うとともに、所有者不明の廃屋は、花プランターを使ったフラワーパターションで修景改善を図った。



休業ホテルでの装飾



フラワーパターション
留寿都村

3 ウェルカム・ギフト

G8首脳夫妻及びアウトリーチ各国に北海道民の歓迎の気持ちを込め、本道滞在を末永く思い留めていただくことを目的に、北海道ゆかりの品をウェルカム・ギフトとして各国大使館等を通じて贈呈した。

ギフトの選定に際しては、選定基準に合致した道内製品等をウェルカムギフト・リストとしてとりまとめ、当該リストの中から道民会議会長及び副会長の協議により選定した。

【選定基準】

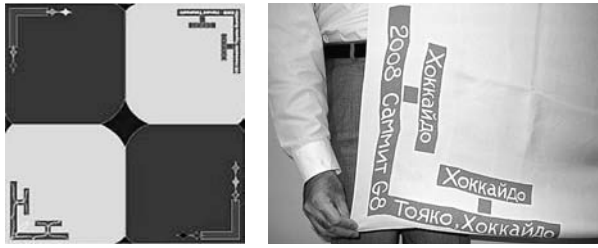
- ・「北海道ゆかり」(※)の品であること。
- ・G8各国首脳や配偶者が日常生活で使用していただけるものであること。
- ※「北海道ゆかり」の定義
 - ①形状や意匠において、北海道のオリジナル性が感じられるもの
 - ②北海道の素材を使用しているもの
 - ③道内在住の作家(在住している又は生誕地である)が製作しているもの

【G8首脳夫妻】

- ・ソメスサドル社の革製鞆(首脳夫妻1組)
 - 内装は、アイヌ文様をアレンジしたオリジナルデザインの漆革で装飾するとともに、贈呈相手の名前等を革製プレートに刻印。



- ・革製カバンの包装：Sikerpe Art 作製風呂敷
 - アイヌ文様をモチーフにデザイン。絹製。配色は、各国ごとに、男性用、女性用のものを用意。



【アウトリーチ国(アフリカ諸国)首脳】

・「グラス・フォレスト in 富良野」工房主宰河野克佳氏作品の花瓶とグラス

—内ヒビで模様が作られた「しばれ硝子」を使用。



【アウトリーチ国(主要経済国(G8を除く))首脳】

・(株)ザ・グラススタジオ主宰浅原千代治氏作品の花瓶

—模様は、「源氏物語」と水を、形は洞爺湖に浮かぶ島をイメージしている。



・花瓶等の包装：オケクラフトセンター森林工芸館作製の木製ギフト箱

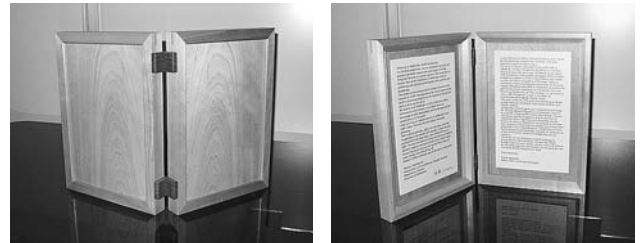
—エゾ松使用。ふたに「2008 G8 Hokkaido Toyako Summit」と刻印。



【ウェルカム・メッセージ(G8 首脳)】

・オケクラフトセンター森林工芸館作製木製フレーム

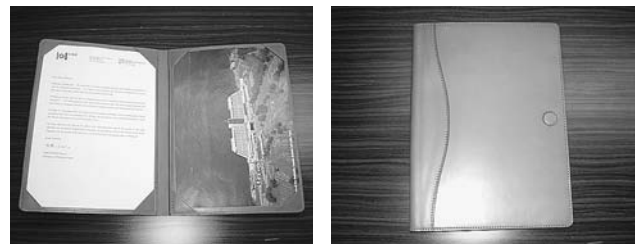
—マカバ・シラカバ使用。北海道知事及び関係市町村長のメッセージをレーザー印字。



【ウェルカム・メッセージ(アウトリーチ国)】

・(株)いたがき作製の革製フレーム

—左側に北海道知事メッセージを、右側にザ・ウィンザーホテル洞爺の写真を挿入。フレームには北海道洞爺湖サミット記念の文字を刻印。



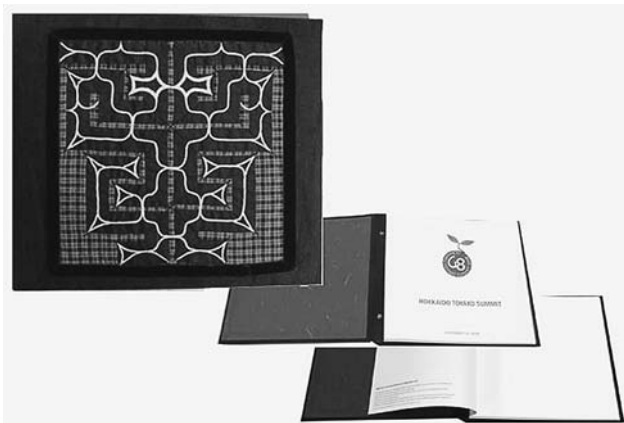
4 記念アルバム表紙生地の提供

道民会議では、外務省が各国首脳等に贈呈する記念写真アルバムの制作に際し、サミットの主要テーマである「環境」との調和を重視するアイヌ文化の素晴らしさを世界にアピールする絶好の機会と考え、アイヌ刺繍を施した生地を提供した。

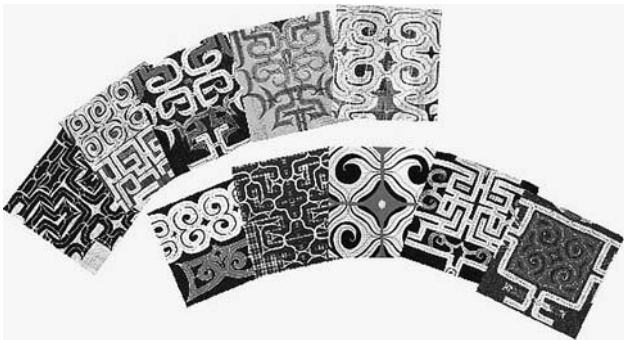
提供した30冊分の表紙生地は、外務省がアルバムに加工、サミット記念写真を収めた上で、G8及び拡大会合に参加した首脳等に大使館等を通じて贈呈した。

なお、生地はサミットが開催される胆振地域で長年アイヌ刺繍の創作活動を行ってきた上武やす子氏と刺繍教室の方々に制作を依頼。下地には同じく胆振管内伊達市の藍染布が使用され、10種類の文様が刺繍された。

【記念写真を収めたアルバム】



【表紙に使われた文様】



5 各国首脳から知事への贈呈品・礼状

サミット開催期間中あるいはサミット終了後に、各国首脳から地元北海道を代表する北海道知事に対して、贈呈品や礼状が贈られた。

こうした贈呈品等については、サミット終了後に開催した「北海道洞爺湖サミット展」(P121参照)にて展示した。



カナダ首相より



アメリカ大統領より



フランス大統領より